

JAいるま野写真コンテスト審査結果

管内の風景を後世に伝えようと、昨年10月から今年6月にかけて募集した「JAいるま野写真コンテスト」。今回は、44人の方から計100点のご応募をいただきました。審査結果は、以下の通りです。なお、入賞作品8点は、「2021年版JAいるま野カレンダー」に掲載する予定です。



最優秀賞「春の陽浴びて」 西 勝博さん

日常の光景を切り取り、春を表現。農道を行き交う人物と植えたばかりの水稲苗を、田んぼの水面に映し込みシンメトリー（上下対称）の構図にしたことで、視覚的効果を生みました。併せて、すれ違って離れていく2人をタイミング良く捉えて、左右対称のように見せたことで、面白さを引き出しています。撮影者のこだわりを感じます。



優秀賞「豊穡の舞」 高橋 利男さん

迫力たっぷり。周囲の観客をぶらしながら、動き回る獅子を写し止めたことで、現場の臨場感が見る人に伝わります。難しい撮影技術のひとつ、「流し撮り」が成功して、魅力的な作品に仕上がりました。



優秀賞「ことしも笑顔で」 鈴木 行男さん

田植え作業が終わりに近づき、そのやり遂げた達成感からくる農家の笑顔なのでしょう。それとも、田んぼに足をとられて動かなくなってしまい、つい笑ってしまったのでしょうか？その表情から、色々なことが連想できます。



- ◆「五穀豊穡の舞」森田 栄一さん
- ◆「春の訪れ」谷山まりあさん
- ◆「春の毛呂山」森田 和雄さん
- ◆「いっぱい食べて」厚目 正さん
- ◆「出番待ち」加藤 祐三さん